

「技能と技術」誌 表紙デザインへの取り組み

長崎県立長崎高等技術専門校 商業デザイン科
松尾 俊郎



長崎高等技術専門校は、平成13年度に校舎を別地に新築移転しました。また、それと同時に訓練科目の再編・整備により、1年課程のデザイン系商業デザイン科が新設されました。訓練内容としては、基礎デザインに関する知識やハンドワーク作業に必要な技能、各種CGソフトの使い方などを中心に訓練を実施しております。

また、各種公募展等に積極的に参加することにより、訓練生自らが設定したテーマについて、考え、発想し、表現することができる人材の育成を目指しています。

「技能と技術」誌表紙デザインは、本年度初めて参加しました。応募締め切りが8月中旬であったため、基礎科目の造形および平面・立体構成基本実技の課題として取り組み、また選出については、科内の学生全員と指導員でコンペを行い、10人に絞り込んで出展しました。

制作当初は、県内で行われる県美術展の作品制作

と時期的に重なっていたため、学生たちにとっては、2つの違った公募課題を創らなければならないため、大変であったと思います。そのなかで、「技能」、「技術」についてどのように表現し伝えるか、苦心しながら制作していました。

今回、最初の出展にもかかわらず、最優秀賞をいただくことができたことは、受賞した本人はもちろんのこと、課題制作に取り組み、意見を交わしながら制作した学生全員の成果であると、大変光栄に思っております。そして、今回の受賞を励みにさらに飛躍することを期待しています。

彼らは、最終目標である就職に向けて、これからも訓練に励んでいかなければなりません、もちろん私も学生の就職活動について、今後取り組みを強化していくことにしております。

最後に、本誌表紙デザインの審査に携わった方々、および担当者の方々に対しまして、厚く御礼申し上げます、結びといたします。

■最優秀賞受賞者

長崎県立長崎高等技術専門校 商業デザイン科 森 紀子



自己紹介 どうしてもこの道に進みたい、そう思っていたときこの学校のことを知り、入校しました。まだまだ未熟な私ですが、毎日ポスター・チラシ作り、ホームページ作成、イベントの企画、デザインの基礎などの勉強に、とても充実した日々を送っています。そんななかでの今回の受賞はとても嬉しくて、今もまだ信じられません。本当にありがとうございました。

作品のコメント 初めてパソコンを使い始めたばかりの頃の作品で、とても恥ずかしいです。この作品に出てくる並んだドミノには、2つの意味を込めています。1つは「努力の積み重ね」を表現していて、倒れたドミノがあってもほかのドミノ（今までの過程）が支えているというもの、もう1つはただの四角からドミノが出てくるという不思議絵の技法を使うことにより、技術は人を楽しく嬉しい気持ちにさせてくれるものなのではないかという想いを自分なりに表現してみました。